

日 時 平成24年10月18日(木)2校時
指導者 教育センター所員 藤瀬 裕子

1 題材名 「進路選択に向けて、今、何をすべきか考えよう」

2 題材について

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は、将来の夢や進路計画がまだ、漠然としている生徒が多い。そのため、職業にも初めはあまり興味を示さなかった。しかし、職場体験が近づくにつれ、前向きに事前学習に取り組む姿が見られるようになった。職場体験当日も真剣な表情で指示を聞き、自分なりに考えて活動していた。この体験後、生徒たちはまとめの作業や授業中の活動に意欲をもって取り組むようになってきた。一方、職場の方からの感想は、「返事をしよう」「自分の考えを積極的に発言しよう」など生徒の課題を浮き彫りにしたものであった。

(2) 題材設定の理由

本題材は、学級活動「(3) 学業と進路」のA 学ぶことと働くことの意義の理解、ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用を受けて設定したものである。いよいよ中学生活も後半に入り、自分自身を見つめ、中学卒業後の進路について本格的な学習を始める。中学校学習指導要領解説特別活動編にも、「生徒が、自己の将来に夢や希望を抱き、意欲的かつ主体的に学習に取り組むとともに、将来の生き方や進路に関する体験を得たり、情報の活用を図ったりしながら、自分の個性や学習の成果を生かす進路を自らの意志と責任で考え、選択していくことは中学生にとって、極めて重要なことである。」と記されている。また、生徒が将来社会で生きていくために、「学ぶことや働くこと」について自己の問題として真剣に受け止め、深く考えて、進路選択に向けての動機付けをすることは、主体性を育む上でも有効であると考えられる。

本県では、ほとんどの学校で職場体験学習を行っている。その職場体験を通して、自分の役割と生きがい、働く目的と意義、身近な職業について考え、働くことの楽しさや厳しさを知り、勤労や職業についての関心・意欲が高められる。しかし、これを次の進路選択に向けての学習へつなぐことが、今まであまりできていない状況がある。職場体験学習を通して「働くことの意義」をじっくり考えたり、「学ぶことと働くこと」の関連性を考えたりすることができないまま、中学卒業後の進路について単独で考えることが多かった。そのため、3年生になっても自分の適性を考えなかったり、周囲に流されて自分の進路を選択したりする場合もあった。最後まで進路選択ができずに、なかなか学習に集中できないという状況も生じている。

中学生活も後半に差し掛かり、これからそれぞれが、中学卒業後の自分にふさわしい進路選択をしなければならない。よって、今、職場体験後の学習で「働く意義はなんだろう」「自分の適性」「進路計画の見直し」「今、すべきことは何か」の流れで進路学習へとつなげることは有効であると考えられる。「働くことと学ぶこと」「働くことと日常生活」の関連を考えさせることにより、現在の自分の言動が将来につながるものであるということと自分自身のことを理解させ、自分の適性を踏まえた進路選択へとつなぎたい。さらに、授業の中に話し合い活動を取り入れることで、互いのよさを見つけ伝え合いながら、改めて自分を見つめる機会としたいと考え、自己理解を深める活動を仕組もうと考えた。そして、この活動を、今後「卒業後のさまざまな道」や「上級学校調べ」をする際も、与えられたものだけでなく主体的に自分自身の知りたいこと、知るべきことを自覚して、情報活用ができるような力を育むことにつなげたい。そうすることにより、生徒たちは、自分自身のよりよい進路選択をすることができると思われる。「将来のために、今、何をすべきか」

についての話し合い活動の後に、「今、すべきこと」をはっきりさせることで、これからの学校生活や学習への主体的な取組につながる意欲付けとしたいと考え、本題材を設定した。

3 指導のねらい

職場体験を終えて、自分の適性を考え、中学卒業後の進路選択に向けて、自主的・主体的に必要な進路情報を活用し、自分にあった進路選択をする足掛かりとする。

4 学級活動（3）の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くことに関心を持ち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことや働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

5 指導計画（全5時間）

活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
<p>①職場体験を振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事前に書いたワークシートを見ながら、職場体験を想起する。 ○「職場体験の前後で考えが変わったこと」や職場体験後に考えた「働く意義」を、ワークシートに記入して、グループで紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職場体験で行った仕事の内容、職場体験前と後での仕事に対するイメージの違いを確認させる。 ○実際に働いてみて、どんなことが実感として分かったかをワークシートに記入させて、グループで紹介する。 ○職場体験を終えて、「働く意義」についてどう考えたかを書かせて、次時に紹介する。（教師がまとめる） 	<ul style="list-style-type: none"> ○「働くということ」「働く意義」について自分なりに考えたことをワークシートに記入している。
<p>②自分の適性について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自分のよい面」「外交的？内面的？」をチェックシートで確認をして、自分の適性について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分のよい面」を各自でチェックシートに記入させる。その後、グループで互いにより面を出し合わせる。 ○「外交的？内面的？」をチェックシートで確認させ、自分について振り返らせる。 ○友達や先生にも自分のことを尋ねて、他者から見た自分を含めて、自分の適性や現在の自分について考えさせる。 ○適性について知り、自分に合う職業について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のよい面を探し、他の人のよい面にも気付いて伝えることができる。 (観察) (ワークシート)

<p>③進路計画を見直そう</p> <p>○個人で「今の自分再確認」をワークシートで行い，現在の自分を知る。</p> <p>○30歳までの進路計画を立て，中学卒業後の進路について考える。</p> <p>○自分の適性を踏まえた計画になっているかを確認する。</p>	<p>○多方面から自分を見つめることで，自分の適性や進路計画について考えさせる。</p> <p>○30歳までの進路計画をワークシートに記入させる。次に，中学卒業後から各学校を出るまでの進路計画を立てさせる。</p> <p>○グループで自分の進路計画を紹介させる。</p>	<p>○進路計画を見通しをもって立てることができている。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>○グループで話を聞くことで，自分の進路計画の見直しができている。</p> <p>(振り返りシート)</p>
<p>④今，何をすべきか考えようⅠ</p> <p>○個人で，進路目標達成を目指して「今，何をすべきか」をワークシートに記入して考える。</p> <p>○記入したことを発表させる。</p> <p>○「学習面」「学校生活」「部活動・趣味・特技」について，今何をしておくべきかワークシートに記入する。</p> <p>○ワークシートに記入したことをグループで発表する。</p> <p>○グループでアドバイスを受けたことや他の人の話を聞いて，「今，すべきこと」を追加・修正する。</p> <p>○次時までに，家族にアドバイスを受ける。</p>	<p>○進路目標達成を目指して，「今，何をすべきか」をワークシートに記入させる。まずは，「身に付けておかなければならないこと」「知っておきたいこと」に絞って考えさせる。</p> <p>○個人で考えたことを，全体に発表させる。</p> <p>○次に，「学習面」「学校生活」「部活動・趣味・特技」について考えさせる。</p> <p>○グループ内で全員が自分の考えを言うようにさせる。質問があれば，するように促す。</p> <p>○今日の話合いや発言を聞いて，参考になったことを色ペンで記入させる。</p> <p>○次時までに，家族に話を聞くことにより，「今，すべきこと」を確認し，自分の考えと比べて参考にさせる。進路計画についてもアドバイスをもらうように話す。</p>	<p>○「身に付けておかなければならないこと」「知っておきたいこと」を考えて，ワークシートに記入している。</p> <p>(ワークシート)</p> <p>○「学習面」「学校生活」「部活動」について，今，何をすべきかを考えてワークシートに記入してグループで紹介する。</p> <p>(ワークシート) (観察)</p>
<p>⑤今，何をすべきか考えようⅡ (本時)</p> <p>○家族から受けたアドバイスも参考にしながら，進路目標達成のために「今，すべきこと」をグループで話し合い，全体に発表する。</p> <p>○今後の進路目標を設定し，「今，すべきこと」を明らかにする。</p>		

6 本時の学習指導（5／5）

「今、何をすべきか考えよう」

(1) 本時のねらい

自分の進路目標達成に向け、「将来のために、今、何をすべきか」について考えさせることで、それに向かう努力目標を明らかにさせ、今後の進路学習につなげる。

(2) 本時の展開

過程	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始	<p>1 前時に、「将来のために、今、何をすべきか」を個人で記入したものを振り返る。</p> <p>2 本時の目標を知る。</p>	<p>○前時の活動と本時の活動の目標を生徒に確認させる。</p> <p>○前時の話合いの振り返りシートの感想をまとめたものを読ませる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 今後の進路目標を設定し、「今、何をすべきか」を考えて、努力目標を明らかにする。 </div>			
活動の展開	<p>3 ワークシートに書いてきた家族からのアドバイスを確認し、新たに加わったことを付箋紙に記入する。</p> <p>4 付箋紙に書いたことをグループで紹介する。</p>	<p>○ワークシートを見ながら、家族はどのようなアドバイスをしてくれたのかを確認させ、新たに加わったことを付箋紙に記入させる。</p> <p>○前時に行ったグループの話合いのまとめや家族に尋ねてきたことを基に、話合いを深めさせる。前時に話し合ったことの追加部分の話をするように指示をする。</p> <p>○個人で付箋紙に記入させ、記録係でグループの記録用紙に貼らせる。</p> <p>○話し合ったことのまとめを記録係に記入させる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○「今、すべきこと」を明らかにするために、グループでの話合いに進んで参加している。 (観察) (振り返りシート)</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○話し手は相手に伝わるように話ができ、聞き手は集中して話が聞いている。 (観察) (振り返りシート)</p>

	<p>5 将来に向けて、「身に付けておかねばならないこと、知っておきたいこと」「学習面、学校生活、部活動・趣味・特技」について付け加えたことを報告し合う。</p>	<p>○聞くときは、報告をする人を見て、自分の考えと比べながら聞かせる。また、今後の学校生活や学習の参考にさせる。</p> <p>○書画カメラにワークシートを映して、視覚的に訴え理解しやすくする。</p> <p>○事前に役割を決めて、グループの代表に報告をさせる。</p>	
活動のまとめ	<p>6 「中学卒業後の進路目標」を立て、それに向かうために「今、すべきこと」を明らかにする。</p>	<p>○これまで学習した「適性」や「現在の自分」のことを振り返り、自分に合った進路目標を立てさせる。</p> <p>○話し合ったことを基に自分の進路目標達成のために、「今、すべきこと」を明確にさせる。</p>	<p>○話し合いを通して、「適性」や「現在の自分」を振り返って、中学卒業後の進路目標を立てている。</p> <p>【思考・判断・実践】 (ワークシート)</p> <p>○できていない生徒には、夢や希望をもちつつ、現在の自分にあった進路目標を立てられるように「学習、学校生活、部活動・趣味・特技」でもっと頑張りたいことについて目を向けるようにアドバイスをする。</p> <p>○今後の進路目標を含めて、「今、すべきこと」を自分で考えてワークシートに記入している。 (ワークシート)</p>
	<p>7 今日の学習を振り返って、振り返りシートに記入する。</p>	<p>○振り返りシートに分かったことや考えたことなどを記入させる。</p> <p>○将来に向けて、進路実現に向かって夢や希望をもって努力するように話をする。</p>	

7 事後活動

- ・自己目標カードに目標を記入させ、それに向かって努力しているかどうか定期的に自己の振り返りをさせる。
(自己評価) **【思考・判断・実践】**
- ・お互いの努力を認め合い、声を掛け合いながら活動意欲を持続させる。(相互評価) **【関心・意欲・態度】**